

くつろぎタイム

ウォーキングで 頭も心もすっきり。 これからの季節は 日帰りで温泉を楽しみます。

仙台商工会議所 1号議員
住友商事東北株式会社
取締役社長

もりかわ つとむ
森川 勤 氏

1957年11月23日生まれ
愛媛県松山市出身
血液型A型



一橋大学商学部を卒業後、住友商事株式会社に入社。入社後は、アルミを中心とした製品に関連する事業に従事。米国サンフランシスコでの勤務も長く、半導体に使われる材料から加工設備関係まで幅広い商材を扱った。仙台には2017年4月に現職就任と同時に赴任。「愛媛の宇和島藩祖が伊達政宗公のご長男、秀宗公であることにご縁を感じています」と話す森川さんの好きな言葉は「誠実」。「好きな言葉と申しますか、公私ともに大切にしなければならぬ言葉ではないかと肝に銘じて生活しています」と話す。

20年来、続けているウォーキングがあるところですね。

ウォーキングを続けています。とはいえ、時間がある週末がメインになりますし、忙しいときや寒い時期は休みなので、年中実行しているわけではありませぬ。でも、それなりの速度で歩くと、考えごとをしても頭の中を空っぽにできるんです。そのすっきりとした感じが気に入っています。

始めたのは、健康診断で医師から勧められたことがきっかけでした。40歳くらいのときに、だいぶ体重が増えまして、さらに脂肪肝と診断されました。私は、それを改善するために食事を制限するのが嫌でしたので、歩くことを選択したわけです。ですから、最初は気分転換ではなく、脂肪肝を治すこと

が目的でした。始めたばかりのころは、15分も歩くのと膝や足首が痛くなって途中で止めることもありました。1時間以上歩くことができるようになるには、2カ月近くかかりましたかね。それでも、日ごろから体を動かしていなかったのが効果が出やすかったのでしょうか、1年後の健康診断では脂肪肝が改善されるという、うれしい結果が得られました。お医者さんも「何をしたんですか」と驚いていましたね（笑）。歩くことで気分転換になること、体重も何とか維持できて病気が治り、ウォーキングの良さを実感できたことが、今日まで続けてこられた理由かもしれません。

ウォーキングの場所がいろいろあるのがいいですね。

1時間から2時間ほど、気の向くままに……という感じですが、最近は自然に青葉山あたりを歩くことが多くなっています。クルマを気にせず黙々と歩くことができる道が好きなんです。近頃は、自分好みの道を見つけたのがうまくなってきました（笑）。歩くことに集中しながらも、季節の移ろいを風を感じたり、きれいに手入れされた植栽を通りがかりに目にするのは、いい楽しみですね。

また、ゴルフに行くこともあります。年々、スコアは落ちてきてはいるものの、いろいろな工夫が必要となり、

それなりに「やりよう」もあるので奥が深く、おもしろいなと思いますし、飽きないですね。

寒い季節の楽しみは何ですか。

私は2年半前に仙台に参りましたが、四国の松山生まれということもあって、仙台の冬の寒さはことの外、こたえませぬ。路面が凍結する時期には、ケガの心配もあるので、ウォーキングはお休みしているんですよ。その代わりというわけではありませんが、寒い季節は日帰り温泉を楽しんでいます。「仙台とその周辺にはたくさん良い温泉がありますね」と、どなたかに話したときに、鳴子温泉を勧めてくださいましたね。調べたら仙台から高速バスが出ているので、早速行ってみたんです。午前中の便に乗って、1、2時間、温泉でゆっくりして夕方には帰って来られます。東京で暮らす家族を呼んで一緒に行ったこともあるのですが、泉質の良さはもちろん、昔ながらの温泉街の風情がとても気に入ったと話していました。いまでは、バスの回数券を買って通っているほどです。

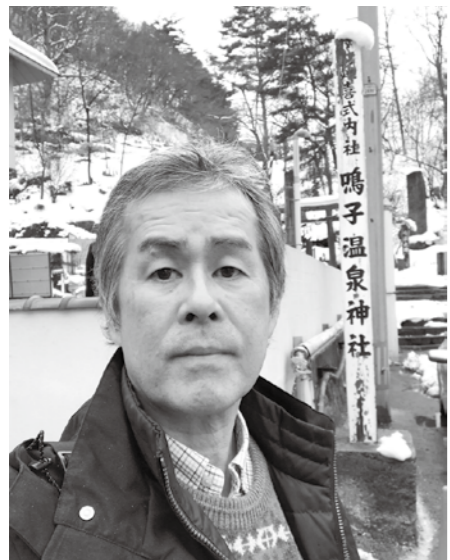
長期休暇はどのくらいお過ごしですか。

この8月に、2週間の休みを取ってスペインに行ってきました。これが2度目の訪問で、昨年、初めて訪れてみ

最後に、お仕事の近況をお聞かせください。

「こんなにおもしろい所になぜこれまで来なかったのだろう」と思うほど、明るくて開放的な人々や、魅力ある街のつくり、ずいぶん感動しました。それで今年も性懲りもなく家内と2人で再訪しました。今年はポルトガルまで足を伸ばしましたが、まだまだ知らない所がたくさんあることをより実感する旅になりました。近い将来、モロッコにも行ってみたいのですが、欲を言えば1、2カ月ほど気に入った街にアパートを借りて住み、「日常」を楽しんでみたいですね。仕事を完全にリタイアしてからはできないことなので、これは夢のまま置いておきます。

弊社は住友商事(株)の出張所という位置づけで、昭和21年1月、終戦から半年もたたないうちにこの地に開設され、商事活動を始めました。そして2003年、同社の新潟を含む東北地区の地域展開を担う総合商社、住友商事東北(株)として発足し、以来「東北とともに、東北のために」をスローガンに、さらなる発展を目指してまいりました。それから16年が経過しまして、ようやく地元(株)の会社として、お取引



今年の初め、鳴子温泉を訪れたときに思い立って撮影したセルフイー。「雰囲気がとても良かったので、思わず写真を撮りたくなりました」と話す。

より良い環境をめざす。

